

## 《 第34回 高高神田会のご案内 》

月島・もんじゃを味わい 江戸風情を感じ

「讃岐もんじゃ」の謎をときながら

バーチャル「四国88ヶ所『酒蔵』巡礼」をしつつ

11月14日の東慶寺コンサートの打合せをもする会

皆様

さわやかな秋を迎え、銀週間という連休も終えて、恙なくお過ごしのことと存じます。

さて、神田会は、秋の東慶寺コンサートを11月14日（土）に控えて、演奏者は、演奏準備に励み、観衆予定者の方は、秋の高まり行く気配に心の準備をされていることと思います。

神田会としては、東慶寺コンサートに先立ち、演奏者も観衆予定者も一同に会して、打合せをしようかとの話が起り、折角、打合せをするなら神田会の会合として何かやろうという声が起こり、折角やるのなら、江戸文化の理解のために月島に集まり、「もんじゃ」などというものを食してみようという考えがおこり、折角の会合ならば、誰か雑談講師をと当日は、高松から高高54年卒の佐藤哲也氏をお招きすることになりました。

佐藤さんは、高松で酒屋さんとして大活躍中の元気溢れる方で、四国の酒造メーカ（酒蔵）88軒集めて、「四国『酒蔵』88ヶ所巡り」などというお大師さんも驚くトンデモナイ企画を実施中で、既に全国から酔狂人が四国の88ヶ所酒呑み巡りをやっているということでもあります。

佐藤さんからは、今回の神田会では「バーチャル四国88ヶ所巡り」をやりましょうか、との提案を受けています。それは、四国の酒蔵地図を持参して、四国の酒を持参して、双六をやりながら「1回休み」「1合一気飲み」「歌をうたいながら呑む」「恥ずかしい話をしてから呑む」などというマスを作って遊ぼうという提案であります。や一けど、それをやるとお猪口88杯で一升も呑むことになりそうやし、朝まで帰れまてーん、てなことになりそうやし、まあそこまでは・・・との意見もあり、現在は、巡礼を2～3回に分けて来年もやろう（？）というような感じになっておりますが、さて、当日の神田会 一体 どのようなことになりますか・・・。

このようなことで、四国の酒や酒蔵の話を聞き質問をしながら色々な四国の酒を呑み、月島に詳しいツッチーやカンチーからは月島事情も聞き、月の島で秋の月を見ながら、月島もんじゃなどというものを食しつつ、ゆったりと秋の一夜を過ごし（余り酔わないうちにできれば東慶寺コンサートの打合せもしたい）という、企画となりました。

ということで 神田会の初の試みの「『月島もんじゃ』を食する会」のご案内を申し上げます。

記

開催日時：10月29日(木)

午後6時30分頃から(いつものとおり時間厳守ではありません)

場所：もんじゃ・割烹「能登」(下図参照) 地下鉄「月島」駅より歩いて5分

東京都中央区月島3丁目13-12

03-3533-3059

会費：会費は後で神田会方式(若いひとや女性は安く)で精算します。

まあ「もんじゃ」やから、若くない男性もそんなに高くはならないはず。



ところで、もんじゃ焼きの歴史は、よくは分かっていないようですが、ウィキペディアによれば、1819年刊『北斎漫画』に、「文字焼き屋」の挿絵があり、焼くときにタネで文字を書いて遊んだことから「文字焼き」と呼ばれ、これが「もんじゃ焼き」となったとの説が有力だそうであります。しかし、どうも「もんじゃ焼き」や「おこのみ焼き」は、いずれも昭和初期から日本全国の駄菓子屋で子供用に鉄板上にうどん粉に水を溶いて味付けしたものに始まり、日本経済が豊かになるにつれて、キャベツ、切りイカなど具の種類も増え、大人の食べ物になり現在の隆盛に至ったようであります。

ところで、ウィキペディアでは「讃岐のもんじゃ」の説明もありました。

曰く。讃岐にも「もんじゃ焼き」と呼ばれているものが存在する。戦後の香川県にはかけうどんに野菜と小麦粉を入れて焼く風習があり、他の地方のもんじゃ焼きとは異なり「讃岐のもんじゃ焼き」と呼ばれている(特徴 - 讃岐うどんのダシが基本となる為、いりこ昆布ダシとうどんが入

っている。作り方・食べ方 - 基本的に関東地方と同じ作り方で、具材でどてをつくり、その後ダシを入れてよく混ぜ合わせ、水分を蒸発させる。焦がさずにとろっとした状態で食べる)。

諸兄姉は、「讃岐のもんじゃ」なんて食したことはありますか？

実は、みどりさんが、既に江戸は「六本木」で「讃岐もんじゃ」を食している！ということなので、その「讃岐もんじゃ」なんて一体何や、という「謎」に迫ります)。

まあ、このような月島のもんじゃ、月を眺めながら日本の貧しい頃の食文化や小麦史を考えつつ、もんじゃを食するも佳し、もんじゃは、も(うえ)んじゃ！ともかくお酒で和気ワイワイ、という方々は、バーチャル四国酒蔵88ヶ所巡りに挑戦して、酒を楽しむも佳し、酔っぱらいを横目に酒は静かに汲むべしと「讃岐もんじゃ」の普及の構想を練るも佳し、です。

まあ、神田会に一度参加しようと考えていた方も、いつも参加している方も、

コンサートの打合せやから、ウチやこし出んとイカンという方も、コンサート行けんけど、もんじゃだけは行こうという方も、何やらよう分からんがまあ行くかという方も、是非ご参加下さい。

神田会は、高高(高中、県女を含む)卒で、好奇心旺盛な方というのが、唯一の参加資格で、その有資格者とご一緒する、友人、家族(将来の家族を含む)、どなたでも参加歓迎です。

現在月島で75軒以上のもんじゃの店があるそうですが、今回の店は、外観はともかく、内容ではもっとも評判の良い店の一つとのことです。

2階の座敷で30名~50名と大人数が集まると想定して予約しております。

わいわいと讃岐弁でしゃべりながら、もんじゃなるものを楽しんでみましょう。皆様の参加をお待ちしております。

## ほいたら 月島で お会いしましょう

第34回高高神田会

月島もんじゃ・コンサート打合せ会実行委員会幹事一同

.....出欠の返信用紙(09.10.29 第34回神田会).....

fax 送信 03-5296-7678 岡崎宛

email 各幹事メール宛

参加

参加者とその人数

欠席

卒業年度

氏名